

ほんごう



学校 HP

札幌市立本郷小学校
学校だより
令和7年11月28日

帰宅時刻(11~3月)→16:30

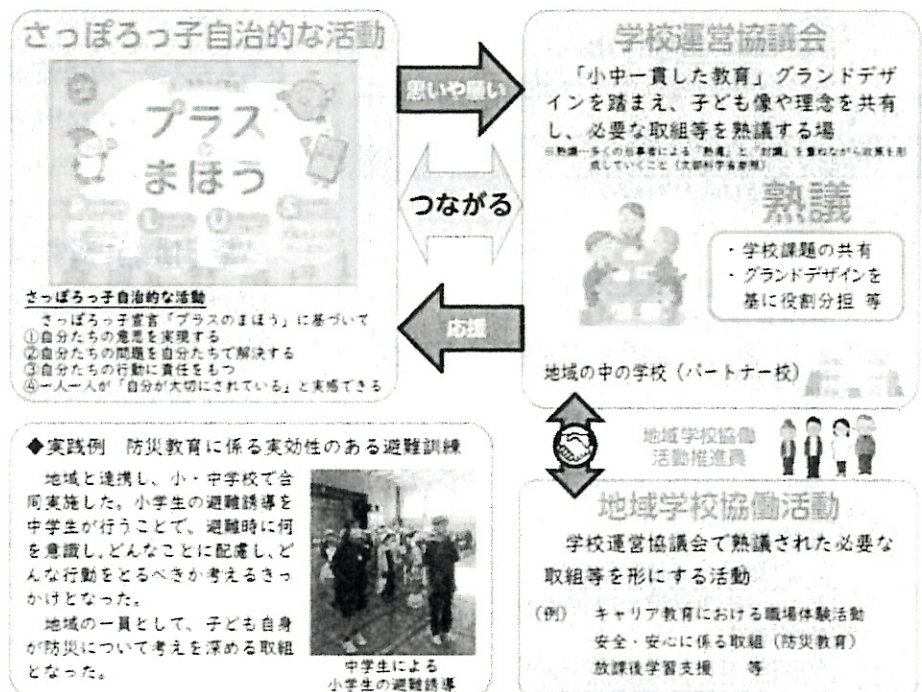
コミュニティ・スクール導入に向けて

校長 福岡 翼

札幌市では「小中一貫した教育」のパートナー校で、令和6年度から令和10年度までの間に「札幌らしいコミュニティ・スクール」を導入することになっています。「コミュニティ・スクール」とは、学校運営協議会を設置した学校のことを言い、学校が家庭や地域と一体となって子どもの育ちを継続して支えていくために導入するものです。

東白石中学校区では、令和8年度からコミュニティ・スクールを導入していきます。導入に向けて大切にしていることは、2点あります。

- ① 「小中一貫した教育」と連動した仕組みとする。
- ② 「さっぽろっ子自治的な活動」と学校運営協議会をつなげることで、「子どもの声」を学校運営に反映させる。



【令和度札幌市学校教育(札幌市教育委員会作成)より抜粋】

現在、上記の2点を具現化するために行っていることとして、1点目『「小中一貫した教育」と連動した仕組みとする。』については、これまで東白石中学校区で取り組んできた「小中一貫した教育」の成果、そして、11月上旬に保護者の皆様にご回答いただきました義務教育9年間の学びの充実に向けた『コミュニティ・スクールに関するアンケート』でいただいた保護者の皆様の願い等を受けて、小中一貫教育の理念や果たすべき役割を描いた全体構想『東白石中学校パートナー校区(大谷地小・東白石小・本郷小)小中一貫した教育グランドデザイン』の見直しを行っています。

2点目『「さっぽろっ子自治的な活動」と学校運営協議会をつなげることで、「子どもの声」を学校運営に反映させる。』については、子どもたちが「したいこと」や「必要と感じていること」を学校運営協議会において熟議するための大切な資料とする「子どもの声」を聴いています。各校の児童会・生徒会の子どもから自分たちの学校のよさ、学校生活への願い等を聴いています。毎年12月に行っています「子どもたちの学校アンケート」の結果も参考にしていきます。学校運営協議会が子どもの「～したい」を支える応援団となるように取り組んでいます。

今年度末には、保護者の皆様に子どものよりよい学びを支える小中一貫教育の具体を示した『東白石中学校パートナー校区小中一貫した教育グランドデザイン』をお伝えしたいと考えています。